

一般会計補正予算など18議案を可決

市議会9月定例会



「平塚市総合公園」

防災計画・事業仕分けなど 政策の現状判断を問う

「職員に意識付けを」 平塚市事業仕分け

同じく総括質問で、本市の事業を第三者の視点で点検する「事業仕分け」が8月に行われたことに対し、仕分けの対象となった20事業の選定方法、「不要」や「再検討」とされた事業の扱いなどを問いました。また、市職員が外部から客観的に事業を評価する視点を持つよう求めました。

「契約の変更を議決」 屋内運動場耐震工事

6月定例会で可決した横内小学校の屋内運動場の耐震補強工事について、地盤の一部が沈下していたため追加が必要になり、工事費用を3344万2500円増額する契約を議決しました。総工事費は1億9383万円となります。

「約5億円を計上」 一般会計補正予算

9月定例会では、一般会計補正予算として、ポリオの予防接種を従来の生ワクチンから不活化ワクチンに切り替える経費として約1億5167万円が計上されました。また、心身障がい者支援施設の建設助成金として約4941万円、自転車を安全に利用できる環境の整備のため、交通量調査を行う費用として350万円が計上されました。

そのほかバスケットボールの競技規則が変更されたことにより中学校体育館のラインを引き直す経費や、食品の放射性物質に関する検査を行うための経費などが計上され、一般会計全体では4億7458万4000円の増額補正となり、平成24年度の一般会計予算の

「連携の取れた計画を」 平塚市地域防災計画

本会議の総括質問では、本市の地域防災計画に質問が集中しました。7月に公

総額は888億7603万円となりました。

開された地震災害対策計画の改訂素案をはじめ、洪水や地震などのハザードマップの作成、避難訓練の実施、無線機器の導入、災害時の要援護者支援、自主防災組織や学校防災計画など、関連する事業や計画が多岐にわたるため、その連携の強化を問いました。

ツインシティ整備に補正予算 早期の計画提示が望まれる

今定例会で提案された一般会計補正予算案で、ツインシティ整備推進事業に4000万円が計上されました。



大神地区と寒川町倉見地区

「ツインシティ」とは大神地区と、相模川対岸に位置する寒川町倉見地区とを道路橋で結び、一体となった都市づくりを進める計画で、今回の予算は大神地区の土地区画整理組合設立準備会に助成され、準備会が作成する事業計画書や資料などの費用となります。会議では「大神地区の土地区画整理

にかかる総事業費と期間」について質問し、今回作成する事業計画書で計画の全体像が明らかになると答弁がありました。そのほか「事業の最終的な責任者」「市からの助成金の限度額」などを質問しました。本会議最終日には賛成・反対それぞれの立場で討論を行い、採決では賛成多数で補正予算案を可決しました。

